すべての人にやさしい、思いやりのある社会

デザイン　色づかい

カラーユニバーサルデザインCUD

CUDとは？

カラーユニバーサルデザインをご存知ですか？

特定の色の区別がしにくい色弱者の人は、日本全体では320万人以上いるとされています。
こういった色弱者や高齢者など、より多くの人に情報が正確に伝わるよう、配色や色づかいに配慮することを**「カラーユニバーサルデザイン（略称CUD）」**といいます。

CUDは公共機関、教育機関など、私たちの身近にある様々な分野にも取り入れられています。多くの行政が取り入れているだけでなく、民間企業でも商品パッケージや各種サービスに反映させています。

事例
・広報誌・取扱説明書・電車の案内図・標識
・教科書・文具・ごみ収集カレンダー
・ハザードマップ・ホームページ など

カレンダー（一例）

一般色覚者の感じ方

色弱者の感じ方

デザインと色を修正して より視認性を高める工夫をすると

日曜日の赤色が見えない方もいます。
色のコントラストがないと、識別が難しくなります。
また、細い書体も可読性が低くなります。

解決案
色だけでは識別しにくい文字はデザイン処理や書体で見やすくします。
一例 日曜・祝日は○で囲み、形の変化でよりわかりやすくします。

Point ポイント

1. 出来るだけ多くの人に見分けやすい配色を選ぶ
2. 色を見分けにくい人にも情報が伝わるようにする
3. 色の名前を用いたコミュニケーションを可能にする

（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構より）

Merit メリット

多くの人に正しい情報が伝わることで、ストレスの緩和、顧客満足度の向上、業務効率化、労働時間の削減などの効果が期待できます。

光和印刷では、CUD用ソフトとUDフォント※を使用して、情報がより多くの人に伝えられるように作成いたします。
（※詳しくはウラ面へ）

詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください

株式会社 光和印刷
https://www.kowa-p.co.jp
Eメール▶info@kowa-p.co.jp

本社 〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1823-22
Tel.029-247-4362 Fax.029-247-9584

東京営業所 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-54-6 K·Sビル202号（日暮里駅東口より徒歩5分）
Tel.03-5615-4362 Fax.03-5615-4361

伝わる 情報発信

ユニバーサルデザインフォント 書体 UD

UDフォントとは？

ユニバーサルデザインフォントをご存知ですか？

年齢や障がいの有無に関わらず、
より多くの人が読みやすいように設計された文字（書体）を
「ユニバーサルデザインフォント」といいます。

最近では、高速道路の標識をはじめ、公共機関の案内板にもUDフォントが採用されている件数も増えてきています。

事例
・広報誌 ・取扱説明書 ・電車の案内図 ・標識
・新聞 ・雑誌 ・役所、病院などの案内状
・パッケージ ・ホームページ など

Point ポイント

1. 文字のかたちがわかりやすい
2. 文章が読みやすい
3. 読み間違えにくい

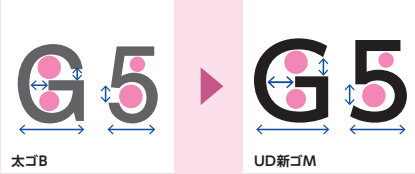
▶ **より多くの人に、正しい情報が伝わるように作成されています。**

デザインの特徴

読みやすさの向上と誤読を防ぐための工夫がされています。

まぎらわしい画線をなくし、シンプルに

アキを確保して判別しやすく



明朝体は横線を太めに

濁点や半濁点など違いをわかりやすく

点対称の文字の差別化

加齢による老眼や、白内障、弱視などでも見やすい書体として開発されました。

モリサワ書体「太ゴB」「リュウミンM-KL」と「UD新ゴM」「UD明朝M」を比較しております

UDフォントの使用例

太ゴB 16.5Q

当社は、茨城県水戸市を拠点に活動する、商業印刷、デザイン、ウェブサイト制作を得意とする総合印刷会社です。情報化社会のトレンドをとらえ、お客様が求める情報伝達・加工サービスをワンストップでご提供することが当社の使命です。

▶

UD新ゴM 16.5Q

当社は、茨城県水戸市を拠点に活動する、商業印刷、デザイン、ウェブサイト制作を得意とする総合印刷会社です。情報化社会のトレンドをとらえ、お客様が求める情報伝達・加工サービスをワンストップでご提供することが当社の使命です。

**多くの人に正しく情報を伝えることは、
受け取る側だけでなく、
発信する側にもメリットになります。
光和印刷では、「伝わる情報」を発信する
お手伝いをいたします。**

UDフォントで経費削減!?

行方市が行ったUDフォントの有益性の検証では、一般的なフォントに比べ、誤読の回避に効果があり、読みの速度が上がるという結果がでました。
これにより業務効率化やコスト削減につながると考えられています。